

発達栄養学科 2020年卒（11期生）  
**齋木 久留美**（旧姓 乾）



## 私の仕事は、子どもの体験を増やすお手伝い

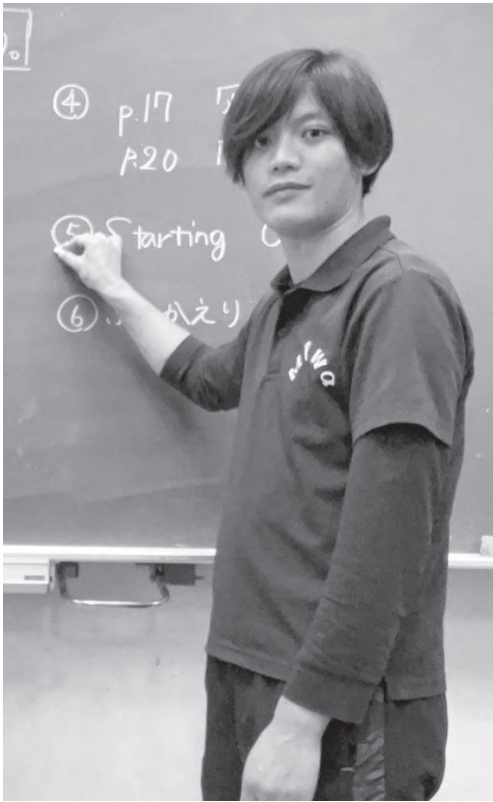
2020年3月に相愛大学を卒業した齋木久留美と申します。私は在学中、栄養教諭を目指して教職を学んでいました。卒業後は教員採用に縁がなく、2年間を小児歯科専門管理栄養士として働いたあと、現在は栄養教諭として小学校に勤務しています。

私が栄養教諭として働き始めて、一番うれしかったエピソードを紹介します。1年生のクラスにAくんという児童がいます。Aくんは偏食気味で、給食に出る苦味な食べ物を見ると泣くこともあります。偏食を減らす支援のため私は「無理に食べなくてもいいよ。でも、苦味な物もひと口はチャレンジしてみようか」と声かけし続けていました。そんなある日、静かにポロポロ涙をこぼしつつも苦味な野菜炒めを完食しました。すかさず「やったね！食べきったじゃんーさすがだね」と声をかけると、Aくんはそのまま野菜スープに口をつけました。様子を見つつこんな調子で励ましていると、「僕ね、保育園の麻婆茄子が好き」と言われました。「そっか！麻婆茄子が好きなんだね。来週の給食に出るよ。楽しみにだね」と伝えるとにこりと笑い、そのままその日の給食をきれいに完食してくれました。担任の先生も、クラスの同級生もびくびく！感染症予防対策のため声は出せませんでしたが、拍手でお祝いました。その後、Aくんは苦味な給食が出たときは食べられなくなり、食べられなかったりと波はありましたが、しかし最初から食べることを諦めることが減りました。この経験から私は、栄養教諭の仕事は完食させることではなく、「苦味な物でも頑張れば食べられる」という体験を増やすお手伝いをすることなんだなあ、と思うようになりました。まだまだ、新米栄養教諭ですがこの経験を忘れず、これからもスキルアップしていきたいと思っています。

## 活躍する卒業生たち

### 子どもたちと「遊ぶ」ことを大切に

私は、相愛大学を卒業後の4年間は大阪府で小学校教諭として勤務しました。その後、兵庫県の採用試験を受け、2020年度から現在に至るまで、丹波市で小学校教諭として勤務をしています。今年で教員生活



子ども発達学科 2016年卒（7期生）  
**大前 晃浩**

8年目を迎え、2年生以外の全学年を担当しました。また、運動会やICT教育担当としての仕事も任せていただけるようになりました。

日々の仕事に取り組み中で、授業づくりや学級経営だけでなく、不登校やいじめ対応といった、様々な課題に悩みながら向き合ってきました。「最近〇〇さんの表情が暗いんです」「保護者の方から相談をされました。どう対応したらいいですか」など、疑問や悩みがたくさんあります。その度にすぐに快く相談に乗ってくださる同僚や先生方の存在がありました。また、子どもたちや保護者の方々からは、「大前先生ありがとう」と「大前先生が担任でよかった」などのありがたい言葉をたくさんかけていただき、その言葉に励まされて今の私がいます。

私が普段から大切にしていることは、子どもたちと「目一杯遊ぶ」ということです。教育実習でお世話になった担当の先生から、「休み時間は子どもたちとたくさん遊んで、関係を作りましょう」と教えていただきました。子どもたちと遊ぶことで関係性を築けるだけでなく、表情の変化や友達との関わり方などについての関わり方などについて、たくさんの方に気づくことができるようになりました。時には、話すことが苦手な子どもがいる中で、「遊び」は話すこと以上に、人と人をつなげる重要な役割を果たしてくれていると日々感じながら働いています。

振り返ると、子どもたちと自然に「遊ぶ」ことができるようになったのは、相愛大学で子どもたちと「遊ぶ」経験をたくさんしてきたからだと思っています。

## 京都支部

### あれやこれやのコロナ禍について

このコロナ禍の続く中、いかがお過ごしでしょうか。いまいましたか？お尋ね致します。この3年のコロナで外出も集会もままならず、家の中で何かする事を見つけて過ごしておられたと拝察申し上げます。

私事ではございますが何かの参考にしていただければと、ここに一筆記したいと存じます。新年になり1月8日、夫が発熱しました。私が風邪を引いてもうつる事がなかった人が熱を出したのには珍しい事でした。38度

台の熱があり、病院は休診のため、様子を見ていましたが夕刻には下りませんでした。でも37度台でした。翌日も休日、様子見が続き、火曜日にかかりつけの病院に行く、裏口から入り用意してあった別室で看護師が問診をして先生に報告し、先生の診察はなく、処方箋を薬局にまわしてくれ、外まで届けるこの事でした。薬は特別のものではなくいつもの風邪薬のみでした。別室での簡易検査の結果は陽性で感染していることが伝えられました。5

回の予防接種をしていたのに感染したとは、どこで!?

不思議な思いですが症状は鼻水も、喉の痛みも咳もなし。その後水曜日からは微熱のままでしたが土曜日まで自宅療養となり、私は濃厚接触者で自粛する事となりました。風邪でなくコロナ患者？と今も不思議です。お陰様で私は感染もせず、今に至っております。私も5回の予防接種とインフルエンザの予防接種をしていましたのでうつらず済んだのかと思います。

今年は何とか政府のコロナ緩和がありましたので春の総会が出来るように努力したいと存じます。その節にはご協力をお願い致します。

支部長 竹原 和

## 関東支部

### 残念ながら今年と同窓会も中止に 来年こそ笑顔でお会いしましょう

ルスの感染症上の位置付けが「5類」に引き下げられることになりました。ようやく少しずつ日常を取り戻して行くことでしょう。しかしながら関東支部は昨年（2022年）の同窓会開催を中止と決定いたしました。まだ安全な状況ではなく、感染を心配しながら開催するのは時期尚早と苦渋の決断をさせていただきました。

長い間楽しみにされている皆様も、とても残念に思われていることと心苦しい気持ちでいっぱいでございます。来年こそはマスクをはずし、久しぶりの紅をさして、皆様を笑顔でお迎えできますよう願っております。

昨年まで3年間、コロナ禍で同窓会活動は止まったままであります。幹事会もいまだ対面では行えず、ラインのみで話し合っております。

支部長 天貝 千代美

## 東海支部

### コロナ禍で活動できない3年間 会員増員のためにお知恵を

10年に一度の寒さで皆様方はどのようにお過ごしでしょうか。

東海支部もこの3年間、活動もなすすぎております。皆様方も早くお顔を見てお話ししたい、電話で話しておきます。

このコロナ禍によりお

支部長 星野 滋子

